

【全日本小学生ソフトボール大会鹿児島県予選会 参加心得】

- 1、監督・コーチは、スポーツ少年団指導者として、日本スポーツ少年団団員綱領・指導者綱領をめざし、正しいスポーツ観に立ち、常に次代を担う青少年の健全育成を念頭におき、冷静な判断と愛情をもって育成指導にあたること。
- 2、スポーツ少年団として、秩序のある規律正しい行動ができるよう指導の徹底を図ること。
- 3、コロナウイルス感染予防の為、場内ではマスク着用。応援者は大声を出さないこと。
- 4、会場設営と清掃について
 - (1) 球場責任団は、公認競技場の資料に基づき球場設営を行う。また、決められた場所（トイレ）に汚物入れ（ビニール袋）を設置する。
 - (2) 日程終了後、最終試合の両チームでグラウンドの隅々までブラシをかけ整備を行う。トイレ清掃は、使用した球場に近い所を勝ち残ったチームで手分けして行う。
 - (3) 会場の清掃美化に努めると共に公共物を大事にする。ごみは持ち帰り「来たときよりも美しく」を心がけること。また、火気類の使用は厳禁とする。
- 5、駐車について
 - (1) 大会に参加するすべての車両は、団名と一連番号を記載した用紙（縦10cm・横15cm）を運転席の見やすい所に必ず表示すること。
 - (2) 球場設営団の道具運搬車・本部役員以外の車両は、場内への乗り入れを禁ずる。試合用具等は人力で運搬する。また、路上やバス転回場への駐車は厳禁とする。
- 6、競技運営について
 - (1) 審判は、全て県ソフトボール協会に委嘱する。
 - (2) ベンチは、組合せ若番が1塁側。グラウンド整備は、勝敗に関係なく両チームで行う。
 - (3) ベンチ内の選手・監督・コーチはコート・ネックウォーマーを着用しても良いが、競技場内に入るときは必ず脱ぐこと。また、医療目的外のサングラスの使用は禁止する。
 - (4) 試合中、審判の判定に対して抗議できるのは監督のみ。応援席の父母等が介入することのないように事前に伝達・指導しておくこと。メガホンの使用は監督のみとする。
 - (5) 記録員に対し試合経過時間を確認できるのは、監督・コーチ・スコアラーに限る。試合中、選手（団員）に聞きに行かせることがないように周知徹底をする。
 - (6) 球場内では、いかなる人もガムをかんだり喫煙（アイコスを含む）をしてはならない。
 - (7) 投手がセットに入ったら、攻守共に声援や鳴り物などの使用をやめて静粛にする。
 - (8) ネット裏にビデオカメラを置かない。（ネット横へは置いてもよいが、自己責任で）
 - (9) 試合終了後、主将による相手監督への挨拶は省略し、すみやかにベンチを空ける。
 - (10) 練習会場では、次の試合になっているチームが優先して使用出来るよう配慮する。また、練習に使用した場所はブラシ等を使用して必ず整備すること。
 - (11) 危険防止のため為、練習会場での外野ノック・フリーバッティング等は禁止とする。また、サンドボール・ティーネットは決められた場所に限り使用を認める。
- 7、本大会において試合放棄・虚偽の選手登録等のあったチームや大会参加心得・運営方針に従わないチームの監督は、今後、県連絡協議会が主催する大会へ参加できない。
- 8、大会参加心得については団指導者会、育成会と話し合いを持ち周知徹底を図ること。

《大会に参加する全員が大会運営に協力して、
いつまでも心に残る楽しい大会にしましょう。》